

要介護高齢者向け多機能車いすをタイへ

日本高齢化社会の経験を活かし要介護高齢者と家族の生活の質の向上を
目指し、タイ国 SDGs に貢献！

— 株式会社松永製作所(岐阜県養老郡)—

国際協力機構(JICA)は、株式会社松永製作所(岐阜県養老郡養老町、松永紀之 代表取締役)との間で、本年 8 月に「タイ国 多機能車いすの導入による要介護高齢者の生活の質向上に資する案件化調査」にかかる業務委託契約を締結しました。

国連が発表した「世界人口予測・2019年版」によると、タイの 65 歳以上の人口の割合は 2021 年時点で 13.5%(日本 28.7%)を占める高齢社会に入っており、30 年後の 2050 年には同割合が 31.8% を超え、今後 30 年のうちに高齢社会から超高齢社会に突入することが予測されています。

こうした中、低所得や中間所得層の高齢者の中には車いすが購入できない人がいたり、車いすを購入した場合でも、転倒や故障による要介護高齢者の負傷が起こったり、車いすを使用した時の姿勢の悪さから、肺機能の低下・内臓圧迫等による健康被害など、生活に悪影響を及ぼし、生活の質の低下につながるケースがあります。

本調査にて、松永製作所はタイの中間所得層の要介護高齢者向けに、自社製品「ネクストコア」を現地最適仕様化するための情報収集に加え、タイにおける要介護高齢者の車いす使用の実態にかかる環境の調査を行う計画です。

同社の提案する多機能車いす(ネクストコア)は、他社製品に比して「高耐久性」、「保守点検の充実」、「安全性を保つための仕様」、「姿勢保持機能」等を有しており、提案製品が現地最適仕様に改良され、タイの中間所得層の要介護高齢者に普及することによって、要介護高齢者の生活の質の向上を目指し、SDGs ゴール3に貢献します。




多機能車いす (ネクストコア)



松永製作所タイ法人にて消毒洗浄中

【関連リンク】

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要 https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

【本件に関する問い合わせ先】	<p>日本の真ん中から世界へ JICA 中部</p>  https://www.jica.go.jp/chubu/index.html
JICA 中部企業連携課 担当：伊藤	
TEL:052-533-1387 FAX:052-564-3751 E-mail : Ito.Masaharu@jica.go.jp	